

# 『小児ガンと闘う子どもたち』

朗読者 森山 良子

6  
今日は私、森山良子が小児ガンと闘う子どもたちについてお話しさせていただきます。

10 「小児がん」は、主に小児期にかかるがんの総称で、白血病・脳腫瘍・神経芽腫など様々な「がん」があります。

10 九州大学病院がんセンターの資料では、国内では年間二千人から三千人が発症し、子どもたちが闘病生活を送っているといわれています。

15 小児がんの治療は、子どものがんを治すだけでなく、そのご家族の皆さんの安心も含めて、社会復帰できる環境を作ることがとても大事なことだと思います。

そうした支援活動の一つとして、私はこの二十年ほど小児がん征圧キャンペーンのコンサートをしてきました。

20 「小児がんと闘う子どもたちと共に 森山良子 with friends」のコンサート会場には、小児がんを乗り越えて一所懸命勉強している若者、そして病を乗り越え社会活動に取り組んでいる人たちやそのご家族、たくさん皆さんの皆さんが応援して下さい、いつもとても大きなコンサートになっています。

私はこのコンサートを通して、たくさんの小児がんの子どもたちと出会えることができました。いつも思うこと、病気と闘う子どもたちはとても強く、たくましく、優しく美しい瞳を持っていることに感動します。

小児がんの子どもたちは、抗がん剤の副作用で髪の毛が抜けたり、顔が丸くはれ上がったことがあります。そんな見た目の変化だけでなく、外側からは見えにくい苦痛や悩みもたくさん抱えています。

成長していく一番大事な過程で、子どもたちは心と体にたくさんの痛みを経験しています。

治療にあたる人たちや、悲しみ苦しみをこらえて、子どもたちを支えて、一緒に闘っているご家族。たくさんの人たちに支えられていること、その思いをしっかりと受け止めているからこそ、子どもたちの心は大きく成長し、すぐく若いのに私たちの方が勇気をもらえるぐらい強く立派に育っている事を私はいつも感じます。

障がいや病気に向き合って生きている子どもたちへの思いやり、手をさしのべる優しさがとても大切だと思います。偏見のない、みんなが一緒に支えていけるような社会を作っていったら、素晴らしいことですね。